

事務事業名		観光施設整備事業			会計	一般会計					
課等名		観光課			事業種別	政策		開始	1	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり							
		施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化							
目的	対象(誰・何を)	観光施設			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	観光客の利便性と快適性の向上を図る				整備を必要とする観光施設(カ所)			15カ所		
	向上させたい上位施策の成果指標	観光消費額(億円)									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
									指標変更		
	定性目標	観光施設を整備することで観光客の利便性と快適性を向上し、観光地としての魅力を高めリピーターの確保につなげる。									
事業概要	観光客の利便性を高め、受入環境を向上させるため、観光地等の施設改修及び四阿、看板、遊歩道等の施設を整備する。 団塊の世代が山岳観光に高い関心を示している中で、登山道及び誘導ルートの安全整備を実施する。 施設の安全利用と保守につながる環境整備事業を実施する。										
事業内容					名称			活動指標			
24年度事業内容	1 観光施設の整備改修工事				1			1			
	(1) 沢城湖周辺整備改修				(1) 沢城湖周辺整備個所			(1) 4カ所			
	(2) 大平宿整備改修				(2) 大平宿整備個所			(2) 4カ所			
	(3) 中央アルプス摺古木山登山道及び安平路山登山道整備				(3) 登山道等整備個所			(3) 2カ所			
	(4) 自然遊歩道等安全対策整備				(4) 自然遊歩道等整備個所			(4) 1カ所			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		8,484	7,035	5,283	3,755	[23→24 繰越明許] 予算 3,000千円(県1,500千円 一財1,500千円) 決算 1,250千円(県624千円 一財626千円)					
国庫支出金						[24特定財源] (県)信州森の小径整備事業補助金 624千円					
県支出金		1,313	1,500	624		(そ)ふるさと寄附金 452千円					
起債						(そ)登山道案内標識等整備事業助成金 36千円					
その他		17	1,500	1,113		(そ)繰越金 625千円					
一般財源		7,154	4,035	3,546	3,755						
人件費計(千円)②		2,861		1,430							
正規職員所要時間		800		400							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		11,345	7,035	6,713	3,755						
事業内容・目標達成状況の振り返り		老朽化した施設を中心に整備を行った。									
改革改善の考え方	①問題点	老朽化した施設が多い。									
	②改革提案	限られた予算の中、安全性を最優先した環境整備を行っていく。									